

森林J-クレジット活用セミナー

令和8年度 愛媛県主催

参加料

0円

開催日時

11/17

13:00～
15:30

火

何から始める？

クレジット運用者の始めの一步と今

で、、、
何から始めればいいの？

森林由来クレジットを運用している三者が
①着手から販売までの手順 ②お金の実際
③体制の作り方を、実務のことばで話します。

「自治体」「林業事業体」「広域団体」
それぞれの立場の実話を聞いて、
スタートするきっかけを得よう。

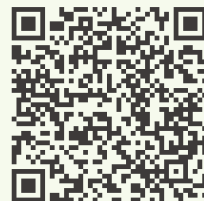
オンライン
参加OK

会場 E:N BASE(愛媛県庁 第二別館1F)

内容 13:00 開会・愛媛県あいさつ・施設紹介
13:10～13:55 事例発表 各15分
①〈自治体〉②〈民間林業経営〉③〈広域団体〉
14:05～14:45 パネルディスカッション「始めの一步と、今」
14:45 情報提供(愛媛県)・閉会
14:50～15:30 個別相談・名刺交換

申込締切
11/16(月)
17:00まで

お申し込みはコチラ



二次元バーコードを読み
取って参加フォームにて
お申し込みください。

主催 愛媛県林業政策課

✉ ringyou@pref.ehime.lg.jp

☎ 089-912-2587

企画・運営 株式会社武田林業

〈お問い合わせ時間〉 愛媛県 林業政策課 まで

平日 8:30～17:15

SPEAKERS

登壇者プロフィール

立場の違う三人の実践者がJ-クレジットのリアルを話します

11/17 火

13:00-15:30

E:N BASE

(愛媛県庁 第二別館1F)

事例発表

1



自治体の立場 陸前高田市役所 (岩手県)

蒲生 夏生 がもう なつお

農林水産部 農林課 林政係長 (企画部 脱炭素推進室 主任 兼務)

林野庁東北森林管理局への人事交流を経て現職。企業に対し、森林クレジットによる“経済的価値”と市独自の「企業の森制度」による“体験的価値”を提供する「みんなで育てる森づくり」を展開。森林の価値を収益化し、その収益を再造林や木育へ還元する循環づくりを担う。森林組合や木工業者等と連携して「人・企業・地域」がにつながる関係性を築き、関係人口の創出や地域経済循環につなげる「森業」の最前線で活動している。



事例発表

2



民間林業経営の立場 田島山業株式会社 (大分県日田市)

田島 大輔 たじま だいすけ

取締役

日田市中津江村で生まれ育ち、家業である林業に携わる。6次産業化による流通改善、激甚災害での売上激減と巨額出費を経て、生き残りをかけて新規事業開発を目指す。LINEやフー社との毎年1,500トン×10年間の排出権取引を実現するなど、自然資本を活かした経営の多角化を推進。近年は、ソラシドエア社と連携した森づくりや、生物多様性/水資源の環境価値の研究など、地域の森を未来につなぐための新しい挑戦を進めている。



事例発表

3



広域団体の立場 とくしま森林バンク (徳島県)

鎌倉 満行 かまくら みつゆき

公益社団法人 とくしま森林バンク 理事長

2021年に発足したとくしま森林バンクに、2022年から理事長として参画し現在に至る。バンクは徳島県内10市町や関係団体と連携し、豊かな森林を次世代へ引き継ぐ取組を推進。所有者自らが経営管理できない森林を中心に経営受託や買取りを進めるとともに、間伐などの森林整備をもとに2024年1月にJ-クレジットのプロジェクト登録を実施、2025年3月にクレジットを発行し、同年7月から販売を開始した。森林を長期的に管理する役割を担いながら、脱炭素にもつながる取組として企業との連携も進めている。



40
min

パネルディスカッション「始めの一步と、今」

14:05~14:45 (40min)

3者を対比しながらのトークセッション。先駆者の話題から自社で行う際のヒントをお持ち帰りください。

前半 〈始めの一步〉

きっかけ・最初にした取り組み・最初の壁

後半 〈今〉

収益と体制の変化・これからすること